

いちご
とちぎ創生 15 戦略における次年度の取組方針について

平成 30（2018）年 10 月 25 日
栃木県総合政策部

1 次年度の取組方針

とちぎ創生 15 戦略については、次年度が計画期間の最終年度となることから、戦略の総仕上げを行うとともに、次期戦略にもつなげていくため、国が重点的に推進する「人づくり革命」や「生産性革命」に係る施策に加え、「わくわく地方生活実現政策パッケージ」などの新たな施策等も踏まえながら、取り組んでいく。

また、各戦略の推進に当たっては、KPI の進捗状況や取組成果等の現状評価を踏まえ、次年度に重点的に取り組む課題を抽出したところであり、これらの課題解決に向けては既存事業の見直し等により更なる効果を高めるほか、特に新たに取り組むものなどについては、以下の 3 に掲げる取組の方向性を勘案しながら事業の具体化を進めていく。

2 今後の予定

- ・ 11 月～ … 意見を参考に予算編成
- ・ 2 月上旬 … 予算案決定

3 取組の方向性

○基本目標 1 とちぎに安定したしごとをつくる

No	戦 略	課 題
1	【戦略 1】 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出 【戦略 5】 多様な人材が働きやすい就労環境づくり	<県内企業の外国人材の活用促進> 人口減少に伴う国内市場規模の縮小、生産年齢人口の減少が進む一方、経済や人材のグローバル化は加速しており、本県産業の更なる発展のためには、外国人材を積極的に活用する必要があります。
課題解決に向けた取組の方向性		
県、(公財) 栃木県国際交流協会、県内企業及び関係団体等が、企業等の外国人材の活用やその活用に伴う諸課題への対応策を検討し、本県の持続的な発展のため、外国人材の活用等を促進していきます。		

No	戦 略	課 題
2	<p>【戦略1】 ものづくり県の 更なる発展と新 産業の創出</p> <p>【戦略8】 とちぎへのひと の環流の推進</p>	<p><創業しやすい環境の整備> 本県の開業率は、15戦略における目安値に達しているものの、依然として全国平均を下回っている状況であり、更に地域の活性化を図るためには、創業の担い手不足や創業初期の多様化した支援ニーズへの対応に取り組む必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>国の新たな施策も活用しながら、U I J ターン等による創業希望者を呼び込むとともに、市町や商工団体等と連携し、創業希望段階から開業・定着に至るまでの伴走支援により、新規創業者の受入れ環境づくり等を推進していきます。</p>		

No	戦 略	課 題
3	<p>【戦略2】 成長産業へ進化 する農業の確立</p>	<p><先端技術の導入による労働力補完と競争力強化> 労働力不足や高齢化に伴う身体能力の低下により、意欲やほ場等の生産基盤があるにもかかわらず、重量野菜・果実等の生産をあきらめざるを得ない農業者が増えていることから、労働力を補完する先端技術の開発・導入促進により、本県農業の競争力強化に取り組む必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>農業分野における労働力の補完や身体的負担の軽減を図るため、産学官の連携により、I o T やロボットを活用した先端技術の実証を行います。また、これら新技術の導入を促進することにより、園芸生産の更なる拡大に取り組んでいきます。</p>		

No	戦 略	課 題
4	【戦略2】 成長産業へ進化 する農業の確立	<p>＜関西圏における県産農産物の認知度向上＞</p> <p>県産農産物は、首都圏を中心に出荷され、関西圏への出荷量はごく一部にとどまり、認知度も低いことから、今後は、将来的な販路を見据え、関西圏でも県産農産物の認知度向上に取り組む必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>今年度実施する関西圏でのいちごのテストマーケティングやプロモーションの取組状況を踏まえ、関西圏の消費者の習慣や嗜好などをとらえた効果的なPR等により、関西圏における県産農産物の理解促進や認知度向上対策に取り組んでいきます。</p>		

No	戦 略	課 題
5	【戦略3】 林業・木材産業の 成長産業化	<p>＜素材生産力の強化＞</p> <p>県の皆伐促進事業の成果等により素材生産量が増加していることから、林業産出額は増額することが見込まれますが、引き続き素材生産量の増加に向けた取組を実施していく必要があります。</p> <p>また、木材・木製品出荷額については、国産材製材品に占める人工乾燥材の出荷量が増えていることから、増額すると見込んでいますが、引き続き木材の販路拡大等新たな需要を創出していく必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>栃木県の豊富な森林資源を生かすため、皆伐の促進、素材供給体制の強化や木材の販路拡大等を図るとともに、林業・木材産業を担う人材を育て、林業・木材産業の成長産業化を促進していきます。</p>		

No	戦 略	課 題
6	【戦略4】 国内外からの観光誘客強化	＜外国人宿泊数の増加＞ 近年、全国において訪日外国人が増加し続ける中で、本県の外国人宿泊数の伸び率は全国平均を下回り、また、過去5年間の伸び率は全国最下位であることから、インバウンドの増加に取り組んでいく必要があります。
課題解決に向けた取組の方向性		
東京オリンピック・パラリンピックの開催など、訪日外国人観光客が増加する好機を生かし、国ごとの嗜好や旅行形態を踏まえた確実なPRに取り組むことで本県への誘客を促進するとともに、周遊性や快適性の向上を図り、滞在時間の延長、さらには滞在時の満足度を高めていきます。		

No	戦 略	課 題
7	【戦略5】 多様な人材が働きやすい就労環境づくり 【戦略8】 とちぎへのひとの環流の推進	＜女性・高齢者の新規就業者数の向上＞ 雇用状況が改善する一方で、県内中小企業における人手不足が深刻化しており、女性、高齢者等の正社員就労を更に促進するため、求職者と企業間のミスマッチ等を解消していく必要があります。
課題解決に向けた取組の方向性		
国の新たな施策も活用しながら、U I J ターン等による移住希望者や、未就業の女性や高齢者等に対する県内中小企業の魅力の効果的な情報発信等により、円滑な就業を支援していきます。		

○基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

No	戦 略	課 題
8	【戦略6】 地元とちぎへの 若者の定着促進	<p>＜県内大学生等に対する地域理解の促進＞</p> <p>小中高校では授業等で地域を学ぶ機会を設け、地域の理解促進が図られていますが、大学等ではその機会が少ないことから、大学生等が地域理解を深める取組を進める必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>学生が実際に地域に入り、その地域の課題の解決に取り組む活動を支援すること、大学コンソーシアムとちぎにおける地域理解の講座に人的な協力を行うこと等により、学生の地域理解を一層促進し、とちぎへの愛着心の醸成や県内就職意欲の増進を図っていきます。</p>		

○基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

No	戦 略	課 題
9	【戦略9】 結婚支援の充実	<p>＜婚姻件数の増加に向けた対策の推進＞</p> <p>婚姻件数は、20歳代及び30歳代の人口減少等に伴い、全国的に減少傾向にあり、本県も同様であることから、婚姻件数を増やすための対策を講じる必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>今後とも継続的に「出会いの場の機会の提供」を着実に実施していくため、とちぎ結婚支援センターにおけるマッチングサービスの提供やイベントの開催等に取り組むとともに、企業と協力した新婚・結婚予定カップル及び子育て家庭の応援など、とちぎ未来クラブが行う結婚支援事業の充実強化に努めていきます。</p>		

No	戦 略	課 題
10	【戦略 11】 子ども・子育て支援の充実	<p>＜多子世帯の経済的負担の軽減＞</p> <p>希望する人数の子どもを持つことができる環境をつくるため、多子世帯の経済的負担を軽減する必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>第3子以降の保育に係る経済的負担の軽減を図るため、引き続き第3子以降保育料免除事業を運用するとともに、当該事業が保護者等によってより活用されるよう、市町と連携し周知に努めていきます。</p>		

○基本目標 4 時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る

No	戦 略	課 題
11	【戦略 14】 健康長寿とちぎづくりの推進	<p>＜県民の健康づくりの更なる推進＞</p> <p>特に働く世代に重点を置きながら、人々の生活習慣に関する意識改革及び健康づくり活動の維持・向上について、県民全体と高リスク群のそれぞれに対するアプローチから促進していく必要があります。</p>
課題解決に向けた取組の方向性		
<p>県全体の健康寿命の底上げを図るため、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらえるよう国や市町と連携し、インセンティブのある取組を推進していきます。</p> <p>あわせて、高リスク群の生活習慣改善の取組について、保険者等と連携し、ICTを活用したきめ細かな支援を行うことにより、県民一人ひとりの健康づくりを推進していきます。</p>		